



地球の恵みを、社会の望みに。



2025年度 第1四半期業績 決算説明資料

2025年8月7日



エア・ウォーター株式会社
2025年度 第1四半期決算説明スクリプト

説明者
代表取締役社長・COO 松林 良祐
広報・IR推進室長 植杉 文

2025年8月7日

Agenda

目次

I. はじめに	P.3
II. 2025年度 第1四半期業績	P.8
III. 2025年度 通期業績予想	P.18
IV. 補足資料	P.21

注 記 事 項

- ・本資料に掲載されている目標数値および将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・当社の財務情報は、IFRS(国際会計基準)に基づき作成しております。



I. はじめに



(単位:億円)	25年度 1Q	増減		25年度 上期予想	25年度 通期予想
		金額	率		
売上収益	2,557	+98	104.0%	5,400	11,500
営業利益	168	+29	120.5%	360	840
親会社所有者 帰属利益	107	+14	114.6%	220	530
営業利益率	6.6%	+0.9pt	-	6.7%	7.3%

2025年度 第1四半期実績

- 売上収益、営業利益ともに1Qでの過去最高業績を更新。収益性の追求により、営業利益率向上
- 生成AI関連需要を背景とした先端半導体案件を取り込み、成長領域のデジタル・半導体関連事業が業績をけん引
- 産業ガスを中心に価格マネジメント等により、収益改善が進展

2025年度 通期予想

- 前回公表数値からの修正なし

説明者:代表取締役社長・COO 松林 良祐

本日は、当社の2025年度 第1四半期の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。決算の全体概況について説明させていただきます。

2025年度 第1四半期業績は、売上収益が2,557億円(前年同期比104%)、営業利益が168億円(同120.5%)、親会社所有者帰属利益が107億円(114.6%)という結果になりました。第1四半期としては、過去最高業績を更新することができました。

事業環境につきましては、前年度から継続しているインフレや為替変動、それに伴うコスト上昇や、米国の関税政策など、先行きが見通しにくい不透明な事業環境となりました。

このような状況ではありましたが、生成AIやデータセンターの拡大を背景に、先端半導体関連需要を取り込み、デジタル・半導体関連事業が好調に推移しました。

また、従前から価格マネジメント、コスト低減に継続的に取り組んでいますが、この中で、特に国内の炭酸ガスやアルゴンをはじめとした産業ガスを中心に価格マネジメントが進展いたしました。その結果、前年同期比で増収増益となりました。

2025年度の通期業績予想については、5月に公表した数値から修正はありません。

新中期経営計画(2025-2027年度)の成長戦略と低成長・低収益事業の見直しを迅速に推進

- 「グローバル戦略推進本部」の設置、エンジニアリング強化によりグローバル・デジタル戦略を加速
- 脱炭素社会への移行やアグリソリューション事業戦略に対応
- シナジー、新規事業創出を強化

セグメント	位置づけ	構成ユニット	
デジタル & インダストリー	成長領域である海外事業戦略の加速、シナジー創出によるデジタル半導体の事業拡大を推進	インダストリアルガス グローバルエンジニアリング	ガスプロダクト デジタル
エネルギーソリューション	脱炭素社会への移行に向け、トランジションエネルギーであるLPガス・LNG関連の収益強化と低・脱炭素の事業化を推進	グリーンイノベーション	エネルギーソリューション
ヘルス & セーフティー	病院向け事業をベースに、在宅医療やコンシューマー向け製品の拡大とデンタル分野での新規事業創出を加速	メディカルプロダクト 在宅ヘルスケア	防災 デンタルケア
アグリ & フーズ	物流機能の内製化・共同化を進め、収益改善とともに北海道におけるアグリ事業を強化。	フーズ アグリ	飲料 ロジスティクス

6月10日に中期経営計画を発表し、「規模の拡大」から「収益性の追求」に舵を切るというご説明をしました。それに向けて、グループの成長戦略と事業ポートフォリオの変革をしっかりと実行していくために、今年4月に事業ユニットの新設・再編を行いました。それに伴ってセグメントの開示区分の変更も行いましたので、ご説明します。

事業ユニット再編のポイントは、3つあります。

1つ目は国内・海外の組織が一体となり、全ユニットがグローバル戦略を実行していくこと、2つ目は、「脱炭素社会への移行」や、「食の安全保障」などの中長期のテーマにコミットして社会課題解決に向けて新たな価値を創出すること、3つ目は、グループでシナジーを発揮して新たな事業を創出すること、これらを実行していくための組織編成となります。

セグメント開示区分の具体的な変更点としては4つあります。

デジタル&インダストリーセグメントに、その他のセグメントに区分していたグローバル事業を組み込みました。

エネルギーソリューションセグメントに、水素・炭酸事業を行うグループ会社「エア・ウォーターグリーンデザイン」を組み込み、脱炭素社会への移行に伴うニーズに対応。カーボンニュートラルに貢献する事業を拡大していきます。

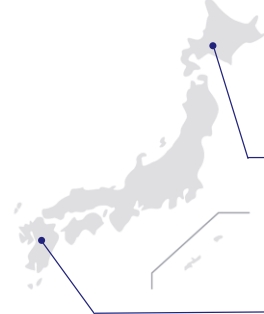
ヘルス & セーフティーセグメントでは、デンタルケアユニットと在宅ヘルスケアユニットを新設・再編しました。

アグリ & フーズセグメントでは、北海道でのアグリ事業の強化に向けて、物流ユニットを新設し、その他セグメントにあった物流事業を組み込みました。

事業ユニットの再編とセグメントの開示区分の変更については以上です。

基本戦略

半導体工場向けトータルソリューションをワンストップで提供



北海道(Rapidus社向け)

エア・ウォーター産業・医療ガス(本社:札幌市)に機能集約しワンストップ対応

特殊ケミカル	各種供給装置	材料マネジメント
	配管工事	物流
		メンテナンス
		容器交換

熊本

エア・ウォーターグループ熊本事業所を開所(5月) デジタル・半導体関連のグループ会社を集約し、ワンストップで提供するための体制を構築

薬品・材料	各種供給装置	材料マネジメント
特殊ケミカル	ガス精製装置	メンテナンス
		容器交換



© 2025 AIR WATER INC. All Rights Reserved. 6

次に、当社が成長分野として注力している事業のトピックスについて、2点ご説明します。

1点目は、デジタル・半導体関連事業の取り組みについてです。

当社グループでは、産業ガスに留まらず、半導体工場向けの製品・サービスをトータルソリューションとしてワンストップでご提供できることを強みとして、デジタル・半導体関連事業の成長を目指しています。

その取り組みとして、北海道においては、北海道の事業会社である「エア・ウォーター産業・医療ガス」に機能を集約し、Rapidus社に対して製品・サービスの提供を開始しています。

また、半導体工場が集積する九州・熊本でも、今年5月に「エア・ウォーターグループ熊本事業所」を開所し、半導体関連分野のグループ会社6社の現地拠点として、サービス体制を構築しました。

すでに、特殊ケミカルなどの半導体材料や機器・工事の納入、また、物流などのサービスの提供を開始しましたが、今後さらに、トータルソリューションの提案を進め、需要の取り込みを加速していきます。



はじめに

グローバル産業ガス事業 インド事業について

地球の恵みを、社会の恵みに。
Air Water

インド市場は高成長が継続

- 2025年度GDP成長率は6.4% *IMF予測
- 粗鋼生産量は2034年に現在の3倍超の5億トン目標
- 半導体工場新設(中長期)なども見込まれ、産業ガス市場の2025-2033年の年平均成長率は7.1% *IMARC社予測

当社のインド事業戦略

- 国内で培った技術・ノウハウに基づいた「鉄鋼向けオンサイトガス供給案件の獲得」と「液化ガス製造拠点の拡充」
- プラント建設・オペレーションに関わる技術力を強化し需要を捉える
- 2027年度の売上目標300億円

8月、インド・チェンナイにおいて液化ガス製造プラントが稼働開始

南部のサプライチェーン拡充により旺盛な産業ガス需要を取り込む。



© 2025 AIR WATER INC. All rights reserved.

7

2点目のトピックスとして、インドにおける産業ガス事業の進捗についてご説明します。

インド市場は、2025年もGDP成長率が6%と高水準の成長が続いています。産業ガス市場も、2025年から9年間の年平均成長率が、GDP成長率を上回る7%と予測されています。

インド市場においては、「鉄鋼向けオンサイトガス供給の案件獲得」と「液化ガス製造プラントの拡充」を基本戦略に、プラント建設やオペレーションに関わる技術を強化し、需要機会をしっかりと捉え成長していきます。

8月6日のニュースリリースでもお知らせした通り、インド南部のチェンナイで建設を進めていた液化ガス製造自社プラントが稼働しました。自動車産業などが集積する南部地域では、すでにガス販売強化を進めていますが、産業ガスサプライチェーンを拡充することにより、需要拡大に対応していきます。同時に、当社の高効率プラントによって、ガスの生産性を高めて利益率向上を推進いたします。

私の説明は以上です。

Ⅱ. 2025年度 第1四半期業績

説明者：広報・IR推進室長 植杉

2025年度第1四半期業績詳細についてご説明いたします。

売上収益は98億円(104.0%)の増収、営業利益は29億円(120.5%)の増益
営業利益率は0.9pt改善

(単位:億円)	24年度1Q	25年度1Q	前年同期比	
			増減額	率
売上収益	2,459	2,557	+98	104.0%
売上原価	▲1,933	▲1,987	▲54	
売上総利益	527	570	+43	108.2%
販売費・一般管理費	▲399	▲418	▲19	
その他の収益・費用	6	3	▲3	
持分法による投資利益	5	12	+7	
営業利益	139	168	+29	120.5%
金融収益・費用	4	▲2	▲6	
税引前四半期利益	143	166	+23	115.9%
法人所得税費用	▲47	▲57	▲10	
非継続事業からの四半期利益(▲は損失)	▲0	—	+0	
四半期利益	96	109	+12	113.0%
親会社の所有者に帰属する利益	94	107	+14	114.6%
非支配持分	3	1	▲1	
営業利益率	5.7%	6.6%		
基本的1株当たり四半期利益※	41.01円	46.81円		

※ 基本的1株当たり四半期利益は期中平均発行株式数により算出しています。

全体数値ですが、先ほど社長の松林からご説明申し上げました通り、前年同期比で売上収益が98億円の増収、営業利益が29億円の増益となり、営業利益率は6.6%と0.9ptの改善となりました。



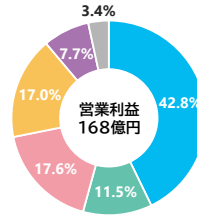
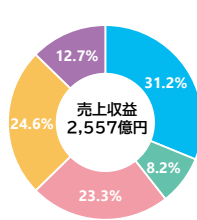
(単位:億円)

グループ	売上収益				営業利益			
	24年度 1Q	25年度 1Q	増減額	率	24年度 1Q	25年度 1Q	増減額	率
デジタル&インダストリー	789	797	+8	101.0%	57	72	+15	126.1%
エネルギーソリューション	199	210	+12	105.9%	14	19	+5	138.7%
ヘルス&セーフティ	564	595	+31	105.6%	24	30	+6	123.7%
アグリ&フーズ	588	629	+42	107.1%	27	29	+1	104.9%
その他	320	325	+5	101.6%	10	13	+3	128.8%
調整額※	-	-	-	-	7	6	▲2	79.1%
合計	2,459	2,557	+98	104.0%	139	168	+29	120.5%

※調整額：セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない当社本部門の損益

25年度1Q
セグメント別構成比

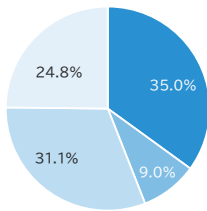
- デジタル&インダストリー
- エネルギーソリューション
- ヘルス&セーフティ
- アグリ&フーズ
- その他
- 調整額



セグメント別の業績については、
全セグメントで売上収益、営業利益ともに前年同期を上回りました。

(単位:億円)	24年1Q	25年度1Q	増減額	増減内訳			
				インダストリアルガス	ガスプロダクツ	デジタル	グローバルエンジニアリング
売上収益	789	797	+8	+12	▲18	+18	▲4
営業利益	57	72	+15	+3	▲1	+9	+4
営業利益率	7.2%	9.0%	+1.8pt				

ユニット別売上構成



- インダストリアルガス
- ガスプロダクツ
- デジタル
- グローバルエンジニアリング

グローバルエンジニアリング
売上収益内訳

事業	24年度1Q	25年度1Q
インド産業ガス分野	51	45
北米・欧州産業ガス分野	100	73
高出力UPS分野	45	65
国内エンジニアリング分野	5	15
合計	202	198

主な増減要因

売上収益 +8億円

- 【+】
- ・ 産業ガスの価格マネジメント ●
 - ・ 半導体関連製品の需要増(機器・高出力UPS) ◆■
- 【-】
- ・ 鉄鋼向けオンサイトガスの数量減 ★
 - ・ 北米産業ガス・機器の販売減 ■

営業利益 +15億円

- 【+】
- ・ 産業ガスの価格マネジメント ●
 - ・ 半導体関連製品の需要増(機器・高出力UPS) ◆■
 - ・ Oリング・無水フタル酸の販売回復 ◆

●インダストリアルガス ★ガスプロダクツ ◆デジタル ■グローバルエンジニアリング

セグメント別の業績の詳細についてご説明いたします。

デジタル&インダストリーセグメントについてです。

売上収益は797億円で8億円の増収となりました。

国内産業ガスの価格マネジメントが寄与したほか、生成AI関連需要を背景とした、半導体関連向けの機器や高出力UPSなどの販売が増加しました。

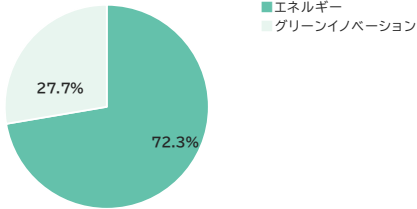
一方で、国内において一部の高炉停止に伴うガス供給量の減少や、北米において脱炭素関連需要の減退などを背景とした産業ガス・機器の販売減少の影響が、売上の伸びが限定的となりました。

営業利益は72億円と15億円の増益となりました。

前年同期で低調だったOリングや無水フタル酸の販売回復などが増益に寄与しました。

(単位:億円)	24年1Q	25年度1Q	増減額	増減内訳	
				エネルギー	グリーンイノベーション
売上収益	199	210	+12	+5	+7
営業利益	14	19	+5	+1	+4
営業利益率	7.0%	9.2%	+2.2pt		

ユニット別売上構成



主な増減要因

売上収益 +12億円

- 【+】 炭酸ガス・水素の価格マネジメント ★
- LPガス・灯油の販売数量増・価格改定 ●

営業利益 +5億円

- 【+】 炭酸ガス・水素の価格マネジメント ★
- LPガス・灯油の販売数量増・価格改定 ●

●エネルギー ★グリーンイノベーション

エネルギーソリューションセグメントです。

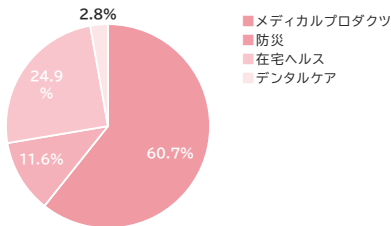
売上収益は210億円で12億円の増収、営業利益は19億円と5億円の増益となりました。

主な販売地域である北海道が、低気温で推移したことから、LPガス・灯油の販売が増加したほか、LNG燃料船への燃料供給、いわゆるバンカリング需要を獲得しました。

また、炭酸ガス供給において、原料ガス不足の影響を受けましたが、価格マネジメントを実施し、堅調に推移したことで、セグメント全体で増収増益となりました。

(単位:億円)	24年1Q	25年度1Q	増減額	増減内訳			
				メディカル プロダクツ	防災	在宅ヘルスケア	デンタルケア
売上収益	564	595	+31	+29	▲2	+3	+1
営業利益	24	30	+6	▲3	+3	+1	+5
営業利益率	4.2%	5.0%	+0.7pt				

ユニット別売上構成



主な増減要因

売上収益 +31億円

- 【+】 医療サービスの新規受託・取扱量増 ●
- コンシューマー向け製品の販売増 ◆

営業利益 +6億円

- 【+】 持分利益の増加(歯愛メディカル) ■
- 防災関連工事の進捗 ★

●メディカルプロダクツ ★防災 ◆在宅ヘルスケア ■デンタルケア

ヘルス&セーフティーセグメントです。

売上収益は595億円で31億円の増収となりました。

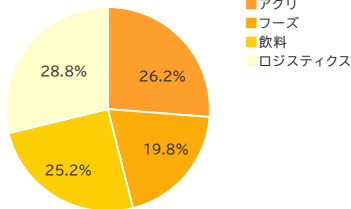
院内物品管理業務を請け負うSPD事業などの医療サービスの新規受託や、取扱量拡大に加え、衛生材料分野におけるコンシューマー向け製品の販売拡大などにより、セグメント全体で増収となりました。

営業利益は30億円と6億円の増益となりました。

防災ユニットにおいてデータセンター向け工事が進捗したほか、資材高騰に対応し価格改定を実施しました。また、デンタルケアユニットにおいて、持分法適用会社である歯愛メディカルの持分利益が寄与し、セグメント全体で増益となりました。

(単位:億円)	24年1Q	25年度1Q	増減額	増減内訳			
				アグリ	フーズ	飲料	ロジスティクス
売上収益	588	629	+42	+7	+7	+9	+19
営業利益	27	29	+1	+2	▲3	+0	+1
営業利益率	4.6%	4.5%	▲0.1pt				

ユニット別売上構成



主な増減要因

売上収益 +42億円

- 【+】 ・ 飲料の出荷量増 ◆
- ・ 食品の取扱量増・料金改定効果 ■
- ・ ハム・デリカの販売増 ★

営業利益 +1億円

- 【+】 ・ 食品の取扱量増・料金改定効果 ■
- ・ 農業機械の販売増・青果流通の収益改善 ●
- 【-】 ・ スイーツの販売減 ★

●アグリ ★フーズ ◆飲料 ■ロジスティクス

アグリ&フーズセグメントです。

売上収益は629億円で42億円の増収となりました。

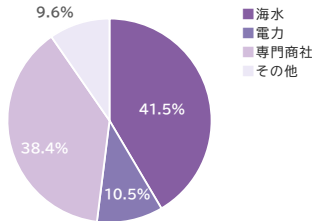
高気温を背景に飲料の出荷量が増加したほか、ロジスティクスユニットにおいて食品の取扱量の増加や料金改定効果がありました。また、フーズユニットにおいて、大手量販店向けを中心にハム・デリカ製品の販売が増加したことが寄与し、セグメント全体で増収となりました。

営業利益は、29億円で1億円の増益となりました。

ロジスティクスユニットで食品の取扱量増加・料金改定効果が寄与したほか、アグリユニットの農業機械の販売増加、青果流通事業における収益改善の取り組み効果などにより、セグメント全体で増益となりました。

(単位:億円)	24年1Q	25年度1Q	増減額	増減内訳			
				海水	電力	専門商社	その他
売上収益	320	325	+5	+7	▲0	+2	▲3
営業利益	10	13	+3	▲1	+2	+0	+1
営業利益率	3.2%	4.0%	+0.8pt				

ユニット別売上構成



主な増減要因

売上収益 +5億円

【+】 ・ 荻田バイオマス発電所における稼働日増 ●

営業利益 +3億円

【+】 ・ 小名浜バイオマス発電所における発電燃料であるPKS(パーム椰子殻)の調達コスト下落 ★

●海水 ★電力 ◆専門商社 ■その他

その他セグメントです。

売上収益は325億円で5億円の増収となりました。
海水ユニットにおいて、木質バイオマス発電の稼働日数が増加したことなどによりセグメント全体の増収に寄与しました。

営業利益は13億円で3億円の増益となりました。
電力事業における発電燃料であるPKS(パーム椰子殻)価格の調達コストの下落などによりプラスとなりました。

以上で各セグメントの業績説明は終了となります。



資産は、営業債権の回収等により減少

負債は、有利子負債が増加した一方で、営業債務の返済が進んだことにより減少

(単位:億円)	2025年3月末	2025年6月末	前年同期比	
			増減額	率
流動資産	4,566	4,304	▲262	94.3%
非流動資産	7,936	7,903	▲33	99.6%
資産合計	12,501	12,207	▲294	97.6%
流動負債	3,279	3,108	▲171	94.8%
非流動負債	3,854	3,814	▲41	98.9%
負債合計	7,133	6,921	▲212	97.0%
資本合計	5,369	5,286	▲83	98.5%
負債・資本合計	12,501	12,207	▲294	97.6%
親会社の所有者に帰属する持分	5,171	5,137		
有利子負債	4,416	4,542		
親会社所有者帰属持分比率	41.4%	42.1%		
ネットD/Eレシオ ※	0.72倍	0.77倍		

※「ネット有利子負債」÷「親会社の所有者に帰属する持分」

連結財政状態計算書についてです。

資産合計は、前期末と比較して、294億円減少し、1兆2,207億円となりました。
流動資産において営業債権の回収等が進みました。

負債合計は、借入金等の有利子負債が増加したものの、営業債務の返済が進んだことにより、212億円減少しました。

なお、ネットDEレシオは0.77倍と前期末から、上昇しました。依然として当社のターゲットである0.8-1.0倍は下回っている状況です。



設備投資の増加、および運転資本の増加によりフリーキャッシュ・フローはマイナス

(単位:億円)	24年度1Q	25年度1Q	増減額
営業キャッシュ・フロー(①)	257	199	▲58
投資キャッシュ・フロー(②)	▲176	▲206	▲30
財務キャッシュ・フロー(③)	▲106	▲95	+11
キャッシュ・フロー合計(①+②+③)	▲25	▲102	▲77
現金及び現金同等物の四半期末残高	632	605	▲28
フリーキャッシュ・フロー(①+②)	81	▲7	▲88

キャッシュ・フローの状況です。

営業キャッシュ・フローは運転資本が増加したことから、199億円となりました。

また、投資キャッシュ・フローは、設備投資による支出が増加し、マイナス206億円となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、マイナス7億円となっております。



Ⅲ. 2025年度 通期業績予想



前回公表数値からの修正なし

(単位:億円)	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	前期比		2025年度 上期(予想)
			増減額	率	
売上収益	10,759	11,500	+741	106.9%	5,400
営業利益	752	840	+88	111.6%	360
税引前利益	740	810	+70	109.5%	350
親会社の所有者に帰属する持分	491	530	+39	108.0%	220
営業利益率	7.0%	7.3%			
基本的1株当たり当期利益	214.57円	231.28円			
年間配当額	75.00円	75.00円			
設備投資額	805	940			

冒頭、ご説明しました通り、2025年度の業績予想については、5月に公表した数値から修正はございません。



		2024年度(実績)	2025年度(予想)	増減	
(単位:億円)		通期	通期	金額	率
デジタル&インダストリー	売上収益	3,595	3,700	+105	102.9%
	営業利益	349	380	+31	108.9%
エネルギーソリューション	売上収益	927	1,000	+73	107.9%
	営業利益	79	90	+11	113.6%
ヘルス&セーフティ	売上収益	2,461	2,630	+169	106.9%
	営業利益	148	178	+30	120.4%
アグリ&フーズ	売上収益	2,404	2,610	+206	108.6%
	営業利益	101	142	+41	140.9%
その他 (海水・電力・専門商社・その他)	売上収益	1,373	1,560	+187	113.6%
	営業利益	71	91	+20	127.3%
(調整額)	営業利益	4	▲41	▲45	-
合 計	売上収益	10,759	11,500	+741	106.9%
	営業利益	752	840	+88	111.6%

※事業ユニットの開示区分変更後の数値 (前期の数値も、変更後のセグメント区分に組替済)

2025年度の業績予想について、現時点では5月に公表した全体数値から修正はございませんが、セグメントの開示区分変更を実施したため、セグメント別の通期業績予想を改めてお伝えいたします。

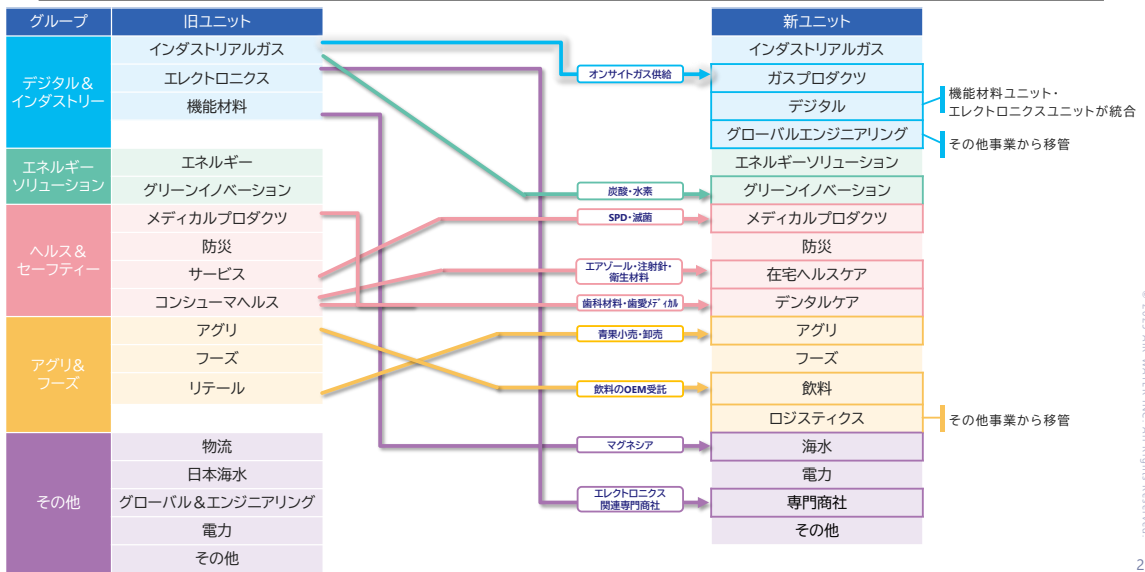
新セグメントの内容については補足資料と併せてご覧ください。

私からのご説明は以上となります。

IV. 補足資料



25年4月1日付の組織変更



© 2025 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

	(単位:億円)	2022年度					2023年度					2024年度				
		Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
デジタル&インダストリー	売上収益	684	760	835	999	3,277	777	831	856	951	3,415	789	880	879	1,044	3,595
	営業利益	48	51	63	75	237	44	79	85	104	311	57	78	95	117	349
エネルギーソリューション	売上収益	195	186	230	283	893	184	177	233	281	876	198	191	240	296	927
	営業利益	14	9	18	24	65	8	10	21	31	70	13	8	24	32	79
ヘルス&セーフティ	売上収益	537	560	593	670	2,360	521	557	579	651	2,309	563	581	619	695	2,461
	営業利益	27	30	38	57	152	23	33	31	60	148	23	34	30	59	148
アグリ&フーズ	売上収益	521	539	560	512	2,132	531	572	612	528	2,244	587	628	646	540	2,404
	営業利益	22	30	27	10	89	21	32	37	9	99	27	36	34	2	101
その他 (海水・電力・専門商社・その他)	売上収益	311	344	393	338	1,387	287	331	397	387	1,403	319	337	382	332	1,373
	営業利益	10	▲2	9	5	22	9	17	31	20	77	10	20	25	15	71
(調整額)	営業利益	8	11	0	37	57	7	0	9	▲39	▲22	7	1	2	▲6	4
合計	売上収益	2,247	2,389	2,611	2,801	10,049	2,300	2,469	2,677	2,799	10,245	2,459	2,620	2,769	2,911	10,759
	営業利益	130	129	155	208	622	113	171	215	184	683	139	180	212	220	752

ユニット別 売上収益

(単位:億円)

	2024年度1Q	2025年度1Q	増減額	率
インダストリアルガス	268	279	+12	104.3%
ガスプロダクツ	90	72	▲18	80.1%
デジタル	230	248	+18	107.8%
グローバルエンジニアリング	202	198	▲4	98.2%
デジタル&インダストリー	789	797	+8	101.0%
エネルギーソリューション	147	152	+5	103.4%
グリーンイノベーション	51	58	+7	113.0%
エネルギーソリューション	199	210	+12	105.9%
メディカルプロダクツ	333	361	+29	108.6%
防災	72	69	▲2	97.4%
在宅ヘルスケア	145	148	+3	102.3%
デンタルケア	15	17	+1	109.0%
ヘルス&セーフティ	564	595	+31	105.6%
アグリ	158	165	+7	104.3%
フーズ	118	125	+7	105.7%
飲料	149	158	+9	106.3%
ロジスティクス	162	181	+19	111.5%
アグリ&フーズ	588	629	+42	107.1%
海水	128	135	+7	105.1%
電力	34	34	▲0	98.8%
専門商社	123	125	+2	101.4%
その他	34	31	▲3	92.1%
その他	320	325	+5	101.6%

セグメント別 主な事業内容

グループ	ユニット	主な事業内容
デジタル&インダストリー	インダストリアルガス	産業ガス(酸素・窒素・アルゴン・水素・ヘリウム等)、産業ガス関連機器・工事
	ガスプロダクツ	鉄鋼向けオンサイトガス供給
	デジタル	半導体メーカー向けガス供給、特殊ガス・ケミカル、関連機器、機能化学品、基礎化学品等
	グローバルエンジニアリング	産業ガス・産業ガス関連機器(インド・北米他)、エンジニアリング、高出力UPS(無停電電源装置)
エネルギーソリューション	エネルギーソリューション	LPガス・灯油、LPガス関連機器
	グリーンイノベーション	炭酸ガス、水素、LNG関連機器、バイオメタン、低炭素・脱炭素関連の事業開発
ヘルス&セーフティー	メディカルプロダクツ	医療用ガス、医療機器、在宅医療、SPD(病院内の医療材料・医薬品の調達・運用の一元管理)、滅菌
	防災	病院設備工事、ガス系消火設備、呼吸器
	在宅ヘルスケア	衛生材料、エアゾール・化粧品OEM受託、注射針
	デンタルケア	歯科材料
アグリ&フーズ	アグリ	野菜加工、青果卸・小売・産直市場、農業機械
	フーズ	ハム・デリカ、冷凍食品、スイーツ
	飲料	飲料のOEM受託、飲料の製造・販売
	ロジスティクス	運送、食品物流、医療・環境物流、車体架装
その他	海水	塩、環境、木質バイオマス発電(兵庫県赤穂市、福岡県苅田町)、 <u>マグネシア</u>
	電力	木質バイオマス発電(福島県いわき市)
	専門商社	エレクトロニクス関連専門商社
	その他	建設工事 他

※ 4月1日付でユニットを変更した事業は下線を引いています。

	2025年3月末	2025年6月末	増減
連結子会社※	136	135	1社減少
持分法適用会社	11	11	-
合 計	147	146	1社減少

※連結子会社の数には、当社が直接連結経理処理を実施している会社のみを含めており、連結子会社が連結経理処理を実施している関係会社はその数から除外しています。なお、上記連結子会社には、ジョイント・オペレーション(共同支配事業)を含んでいます。

2025年度第1四半期 主な新規連結会社

該当する会社はありません。

(参考)2024年度 主な新規連結会社

該当する会社はありません。

ガス種別 売上収益(デジタル&インダストリー、エネルギーソリューション)

(単位:億円)

国内/海外	ガス種	24年度1Q	25年度1Q	増減	
		金額	金額	金額	率
国内	酸素	92	79	▲13	85.5%
	窒素	93	98	+4	105.1%
	アルゴン	32	32	▲0	99.6%
	炭酸ガス	57	63	+5	109.5%
	水素	14	16	+2	115.1%
	ヘリウム	11	10	▲0	95.4%
	その他ガス	49	32	▲17	65.5%
	LPガス	86	86	+0	100.3%
	灯油	18	21	+3	114.6%
海外	酸素	26	22	▲3	85.2%
	窒素	9	8	▲1	85.3%
	アルゴン	8	7	▲1	85.5%
	炭酸ガス	1	1	+0	122.5%
	水素	0	0	▲0	67.1%
	ヘリウム	1	1	▲0	92.0%
	その他ガス	48	35	▲13	73.7%

※国内は、炭酸ガス、水素、LPガス、灯油は主にエネルギーソリューションに、それ以外のガスはデジタル&インダストリーにそれぞれ区分
 ※海外は、デジタル&インダストリー(グローバルエンジニアリング)に区分

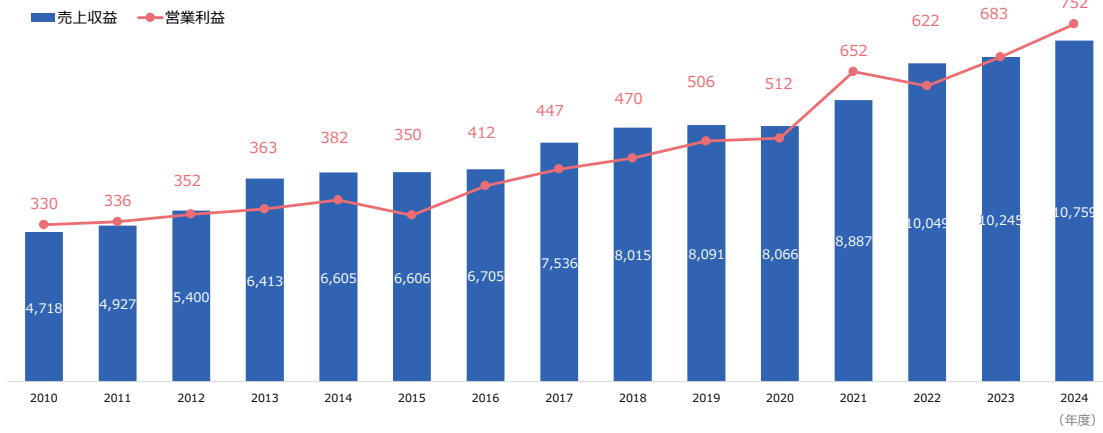
(単位:億円)

グループ	24年度1Q	25年度1Q	増減	
			金額	率
デジタル&インダストリー	51	67	+16	130.4%
エネルギーソリューション	13	18	+4	131.4%
ヘルス&セーフティ	22	27	+4	120.1%
アグリ&フーズ	26	27	+1	103.7%
その他	6	12	+6	190.6%
(調整額)	14	15	+1	105.9%
合計	133	165	+32	124.0%

※事業利益:営業利益からその他収益・費用を控除した利益

売上収益・営業利益の推移

(単位：億円)



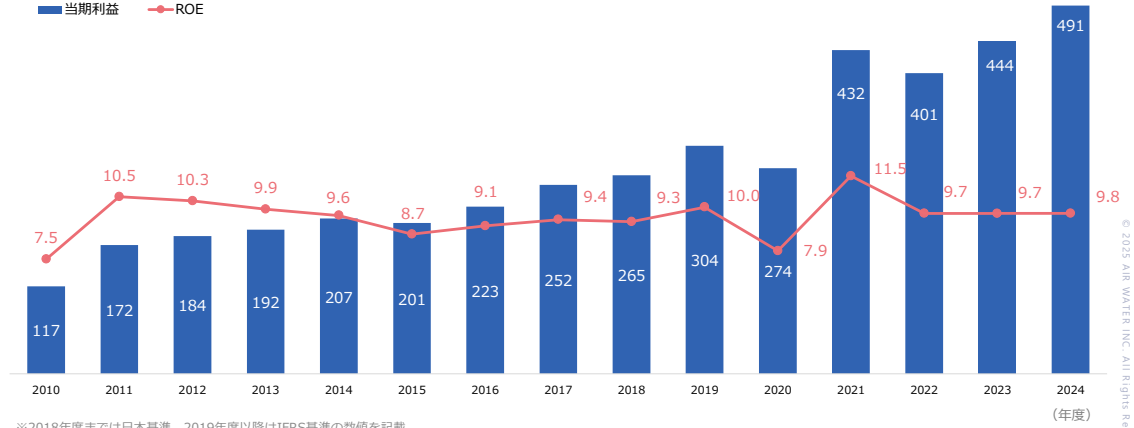
※利益は2018年度までは日本基準における「経常利益」、2019年度以降はIFRS基準における「営業利益」を表示

© 2025 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

ROE・当期利益の推移

(単位：億円/%)

■ 当期利益 ● ROE

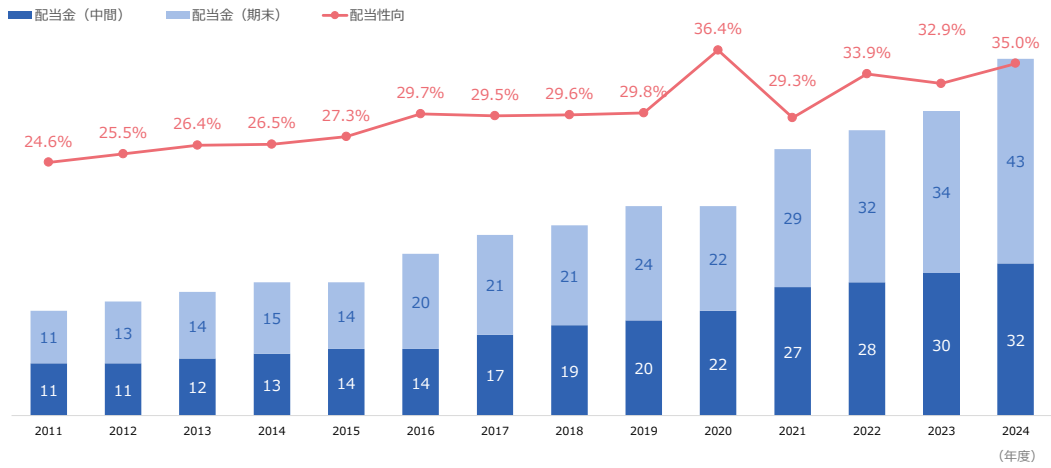


※2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

© 2025 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

配当の推移

(単位:円)



※2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

© 2025 AIR WATER INC. All Rights Reserved.

リリース日	トピック
5月16日	■ 自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)提言への賛同とTNFDフォーラムへの参画について
5月23日	■ 「エア・ウォーター水素ステーション札幌大通東」開所式を開催
5月23日	■ エア・ウォーターとエア・ウォーター北海道が三笠市と包括連携協定を締結
5月27日	■ 熊本県大津町にデジタル・半導体関連事業のグループ複合拠点「エア・ウォーターグループ熊本事業所」を開所
6月2日	■ 北海道の自治体向け寄付制度「ふるさと応援H(英知)プログラム」2025年度の概要と募集開始のお知らせ
6月10日	■ 中期経営計画(2025～2027年度)「terrAWell30 2nd stage」について
6月11日	■ 2025年度「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定
6月26日	■ 関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンリボンステージで「エア・ウォーター 未来フェス！～地球の恵みと共に～」を開催
6月30日	■ 北海道大学「協働教育研究支援(給付型奨学金)プログラム」支給対象者が決定
7月4日	■ 神戸大学・大学院向けの奨学金制度「エア・ウォーター奨学金(神戸大学基金)」2025年度募集開始
7月8日	■ 遠隔心臓リハビリを支援する医療機器プログラム「リモハブ CR U」が薬事承認を取得
7月28日	■ 合弁会社エア・ウォーターK&Oを設立し、低炭素水素製造拠点を新設
8月6日	■ インド・チェンナイの液化ガス製造プラントが稼働開始

■ デジタル&インダストリー ■ エネルギーソリューション ■ ヘルス&セーフティ ■ アグリ&フーズ ■ その他事業 ■ その他

詳細は当社[Webサイト](#)をご覧ください。

地球の恵みを、社会の望みに。

